

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

| | |
|--|--|
| (整理番号) 034 | 提案機関名 農業技術センター普及指導部 |
| 要望問題名 オリーブアナアキゾウムシの物理的防除技術の確立 | |
| 要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 当所管内では地域振興の一環としてオリーブの産地化が進められているが、オリーブアナアキゾウムシによって結果初期の樹が徐々に枯死しており、産地化の妨げになっている。しかし、オリーブはマイナー作物なので、農薬の登録が少なく、オリーブアナアキゾウムシについて年間7回しか防除できず、またオリーブアナアキゾウムシの産卵期間が長期に渡るため、薬剤防除だけでは被害が軽減できない。 そこで、オリーブアナアキゾウムシの被害が多い地際部の被覆など、物理的防除技術の確立を求めたい。 オリーブ生産者 43戸 | |
| 解決希望年限 | ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内 |
| 対応を希望する研究機関名 | <input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター |
| 備考 | |

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

| | | | |
|--|--|-------------|------------|
| 回答機関名 | 神奈川県農業技術センター | 担当部所 | 足柄地区事務所研究課 |
| 対応区分 | <input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可 | | |
| 試験研究課題名 (①、②、④の場合) 病害虫の診断同定及び発生生態の解明に基づく予察・防除技術の確立 診断・同定及び防除技術の開発 オリーブの病害虫に対する防除法の確立 | | | |
| 対応の内容等 オリーブアナアキゾウムシに対する登録農薬の現行の散布可能回数としましては、アディオン水和剤の散布が2回、ダントツ水溶剤の散布が2回、スミチオン乳剤の樹幹散布が3回、計7回となります。 研究課オリーブほ場で主産地の防除暦を参考に、オリーブアナアキゾウムシ対策も考慮に入れた年間の農薬散布体系を試行します。この試行の中で上記の剤、計7回以内の薬剤散布で防除可能かどうか検討していきます。この結果については随時お繋ぎいたします。また、病害虫の発生状況は場所によって異なることから、現地ほ場での調査についてもご協力お願い致します（対応区分⑥）。 物理的防除技術の検討につきましては、薬剤散布による防除法の検討以降、必要に応じて取り組んで参ります。 | | | |
| 解決予定年限 | ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内 | | |
| 備考 | | | |